

平成19年11月22日
経済産業省

冬のガス燃焼機器による事故防止について（注意喚起）

冬は他の季節に比べガスストーブによる室内暖房の使用、ガス瞬間湯沸器による給湯やガスふろがまによる入浴等の機会が増えます。これらガス燃焼機器の使用頻度の増加に伴い、一酸化炭素中毒事故や火災などの重大事故の発生率が高まるおそれがあります。

ガス燃焼機器を使用するときは、必ず換気をする、ガス燃焼機器のそばに可燃物を置かないなど、注意しましょう。

経済産業省は、ガス燃焼機器を安全に使用していただくための注意事項をお知らせするとともに、リコール対象機種を改めて公表して、当該機種をご使用の消費者の方々には使用を中止していただき、早急に各社が設けているフリーダイヤルにご連絡いただきますよう呼びかけるものです。

1. ガスストーブについて

（1）使用時の注意事項

ガスストーブは、誤った使い方や不注意によって、火災や爆発、一酸化炭素中毒等の事故が発生する可能性がありますので、以下の点に注意してください。

- ① 洗濯物や衣類等を器具の上や近くに吊したり、干したりしないでください。ガスストーブの前でふとんを乾かしていたところ、ガスストーブの火が燃え移り火災に至った。ガスストーブのそばの椅子にかけてあったタオルがストーブの上方に落下し火災に至った事故事例があります。
- ② カーテンなど可燃物の近く、落下物の危険のあるところでは使用しないでください。サイドボードの上から紙製品等の可燃物がガスストーブ付近に落下して燃え移り火災に至った事故事例があります。
- ③ ガスホースがガス栓から外れていないか確かめてください。ガスストーブとガスホースの接続部分が不完全な状態でガスストーブを使用したため、漏れたガスにストーブの火が引火し、火災や爆発に至った事故事例があります。
- ④ 30分に1回、1分間程度換気してください。ガスが燃えるには、新鮮な空気が必要です。窓全閉で換気扇が停止状態でガスストーブを使用し一酸化炭素中毒事故に至った事故事例があります。
- ⑤ 不完全燃焼防止装置の付いていないガスストーブは、不完全燃焼防止装置付のガスストーブに取り替えましょう。

【ガストーブの不完全燃焼のチェックポイント】

- ・使用中にいやな臭いがする
- ・燃焼部分が変形している
- ・炎があふれている
- ・ススが付着している

※ひとつでも当てはまったら、使用を中止し、ガス機器メーカー、販売店、ガス事業者に連絡して下さい。

(2) 社告・リコール情報等

(独)製品評価技術基盤機構(以下「NITE」という。)の平成18年度の事故情報によれば、ガストーブ(ガスファンヒーター含む)による火災事故等が17件、一酸化炭素中毒事故が2件発生しています。最近のガストーブに係る社告及びリコールは下記のとおりです。

- ① 三洋電機(株)及び鳥取三洋電機(株)では、昭和62年以前に製造・販売されたガストーブ(燃焼部分が金網)については本年2月10日の事故をうけて、本年2月14日に社告を出して、使用上の注意喚起を行うとともに、点検修理を呼びかけています。対象製品をお持ちの方は、下記のフリーダイヤルか販売店、ガス事業者に連絡して下さい。なお、同型機で「大阪ガス」ブランドのものも同様に大阪ガス(株)が点検修理を呼びかけています。

・対象製品

三洋電機(株)、鳥取三洋電機(株)製造

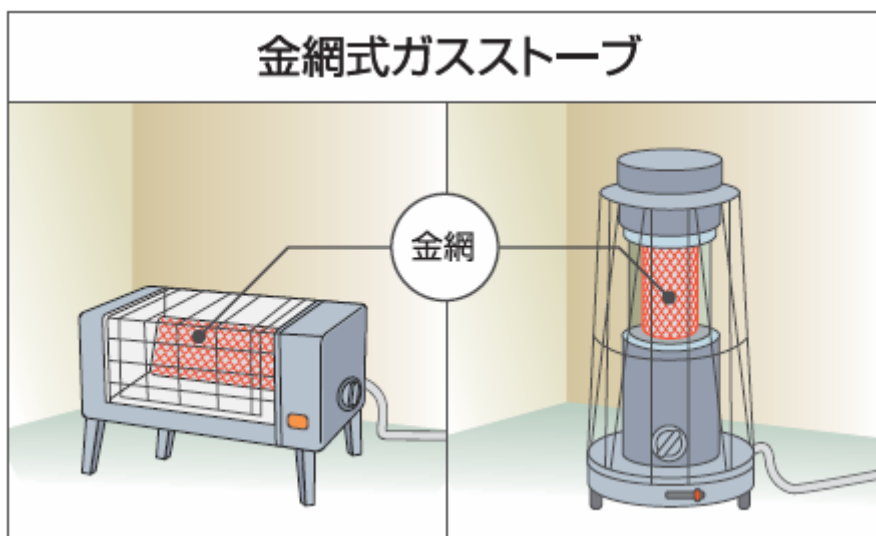
GH-***、GHR-***、TS-***等

三洋電機(株)フリーダイヤル:0120-34-3958

ホームページ : <http://www.sanyo.co.jp>

大阪(株)フリーダイヤル:0120-0-94817

ホームページ : <http://www.osakagas.co.jp>



- ② パロマ工業（株）では、平成13年に製造・販売した「ガスストーブ（型式：PG-22F、PG-33F）」において、ごく微少のガス漏れが発生するおそれがあることから、本年8月31日社告を出して、無償で点検・部品交換を行っています。対象製品をお持ちの方は、下記のフリーダイヤルか販売店、ガス事業者に連絡して下さい。

パロマ工業（株）フリーダイヤル：0120-758-373
ホームページ：<http://www.paloma.co.jp>

2. ガス瞬間湯沸器について

(1) 使用時の注意事項

ガス瞬間湯沸器は、誤った使い方や不注意によって、一酸化炭素中毒や火災等の事故が発生する可能性がありますので、以下の点に注意してください。

- ① 屋内設置式のガス瞬間湯沸器を使用するときは、必ず換気をしてください。特に開放式小型湯沸器については、不完全燃焼防止装置がある場合でも、必ず窓をあけるか換気扇を回して使用してください。換気を行わずガス瞬間湯沸器を使用して一酸化炭素中毒を起こし、死に至った事故事例があります。
- ② 小型湯沸器は長時間使用しないでください。小型湯沸器から風呂や洗濯機にホースで給湯したり、シャワー・洗髪など、長時間の使用により不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒に至った事故事例があります。
- ③ 煙突があるFE式（ファンで屋外に排気する強制排気式タイプ）のガス瞬間湯沸器を使用するときは、排気ファンが廻っているか、煙突が詰まっていないか、外れていないか、穴があいていないか、外側まできちんと設置されているか、排気口、吸気口が塞がっていないか確認して下さい。不完全燃焼防止装置が付いていないFE式のガス瞬間湯沸器内蔵の強制排気ファンが故障して廻らなくなり、不完全燃焼による排気が室内に溢れ出たため、一酸化炭素中毒に至り、また、安全装置が不正改造され、排気ファンの作動がなくとも点火が可能な状態になっており、排気ファンが作動せず一酸化炭素中毒に至った事故事例があります。
- ④ 不完全燃焼防止装置の付いていないガス瞬間湯沸器は、ガス機器メーカー、ガス供給事業者にも早急に連絡し、不完全燃焼防止装置付のガス瞬間湯沸器に取り替えましょう。

【ガス瞬間湯沸器の不完全燃焼のチェックポイント】

- ・排気ファンが作動しない
- ・使用中にたびたび火が消える
- ・炎の色が赤みを帯びて、輪郭がぼやけている
- ・機器の上部がススなどで詰まっている
- ・機器の全面の塗装が部分的に黒く変色している

※ひとつでも当てはまったら、使用を中止し、ガス機器メーカー、販売店、ガス事業者に連絡して下さい。

(2) 社告・リコール情報等

NITEの平成18年度の事故情報によれば、ガス瞬間湯沸器による一酸化炭素中毒事故が15件発生しています。最近のガス瞬間湯沸器に係る社告及びリコールは下記のとおりです。

- ① パロマ工業（株）昨年7月15日以降（当省における緊急命令は平成18年8月28日）不正改造のおそれがある7機種（PH-81F、PH-82F、PH-101F、PH-102F、PH-131F、PH-132F及びPH-161F）のFE式ガス瞬間湯沸器を無償により点検回収を行っておりますので、対象製品をお持ちの方は、型式を確認のうえ、下記のフリーダイヤルか販売店、ガス事業者に連絡して下さい。

パロマ工業（株）フリーダイヤル：0120-314-552

ホームページ：<http://www.paloma.co.jp>

- ② 小型湯沸器は、注意喚起の一環として、ガス機器メーカー（リンナイ（株）、パロマ工業（株）、（株）ノーリツ、（株）ハーマンプロ、松下電器産業（株）、日立アプライアンス等）及びガス事業者において、緊急無償点検を実施しております。開放式小型湯沸器をお持ちの方は、各ガス機器メーカー、ガス事業者及びガス機器販売店に連絡して下さい。



- ③ (株)ハーマンでは、パロマ工業(株)製「半密閉FE式湯沸器」の事故を受け調査した結果、昭和56年から昭和60年に株式会社陽栄製作所時代にブランド名「ダンポット」等で製造・販売した「半密閉FE式湯沸器」において、平成6年3月19日一酸化炭素中毒事故が発生していたことが判明したことから、平成18年8月7日社告を出して、排気ファンが作動しない等の現象があったら、使用中止などの注意喚起を行い、無償点検を行っています。対象製品をお持ちの方は、下記のフリーダイヤルか販売店、ガス事業者に連絡して下さい。

<対象機器>

ブランド名：「ダンポット」、「北ガス」、「東邦ガス」、「ほくさん」、「広島ガス」、「西部ガス」

型式：S8S7、S8S8、S10S7、S10S8、
S13S7、S13S8

(株)ハーマン フリーダイヤル：0120-31-3800

ホームページ：<http://www.harman.co.jp>

3. ガスふろがま（バーナー付ふろがま）について

ガスふろがま（バーナー付きふろがま）は、誤った使い方や不注意によって、一酸化炭素中毒や火災等の事故が発生する可能性がありますので、以下の点に注意してください。

(1) 使用時の注意事項

- ① 煙突式を使用中に、窓を閉めたままで、となりの部屋で換気扇を回すと危険です。煙突から排気が出ていかず、となりの部屋の換気扇により逆流して一酸化炭素中毒になるおそれがあります。窓を開ければ、窓から空気が入って煙突から排気されます。
- ② 屋外式ふろがまを屋内に設置して使用すると、排気ガスが室内に流れ、一酸化炭素中毒にあるおそれがありますので使用しないで下さい。
- ③ 空焚きに注意してください。浴槽に水が入っていないにもかかわらず、ふろがまのスイッチを押したため空焚き状態となり、器具が過熱し出火した事故事例があります。

【ガスふろがまの不完全燃焼のチェックポイント】

- ・使用中にたびたび火が消える
- ・炎の色が赤みを帯びて、輪郭がぼやけている
- ・機器の上部がススなどで詰まっている
- ・機器の全面の塗装が部分的に黒く変色している

※ひとつでも当てはまったら、使用を中止し、ガス機器メーカー、販売店、ガス事業者に連絡して下さい。

(2) 社告・リコール情報等

NITEの平成18年度の事故情報によれば、ガスふろがまによる火災事故等が40件(うち、空焚き4件)、一酸化炭素中毒事故が3件発生しています。最近のガス瞬間湯沸器に係る社告及びリコールは下記のとおりです。

- ① (株)ガスターでは本年7月22日のCO中毒事故を受けて、平成2年から本年6月まで製造・販売した「寒冷地向けシャワー付きバランスふろがま(型式名;SRⅢK1、SRⅢSK1シリーズ、都市ガス用)、ブランド名;YUMEX((株)INAXへOEM)」の熱交換機を無償で点検、交換を行っております。また、同型機で「リンナイ」ブランド、「北海道ガス」ブランドのものも点検、交換を行っております。対象製品をお持ちの方は、下記のフリーダイヤルか販売店、ガス事業者に連絡して下さい。

(株)ガスター((株)INAX含む)

フリーダイヤル:0120-670-087

ホームページ:<http://www.gastar.co.jp/>

リンナイ(株) フリーダイヤル:0120-670-036

北海道ガス(株) フリーダイヤル:0120-670-045

なお、本件を受けて、類似製品(型式:GBSQ-815-KR)を製造・販売している(株)ノーリツも無償で自主点検を行っております。

(株)ノーリツ フリーダイヤル:0120-244-026

- ② (株)世田谷製作所では、平成9年から平成18年までに製造・販売した「ふろがま及びふろバーナー」の部品の一部に亀裂が入る不具合が生じ、機器内部でガス漏れが生じた場合、機器本体の焼損に至おそれがあることから、本年4月19日社告を出して、無償で点検・部品交換を行っております。また、同型機で「ハーマン」ブランド、「オカキン」ブランド、「東京ガス」ブランドのものも同様に点検・部品交換を行っております。対象製品をお持ちの方は、下記のフリーダイヤルか販売店、ガス事業者に連絡して下さい。

対象製品:ふろがま・・・R38、R137、CS31B、CS32B、CS33B、FE15

ふろバーナー・・・TA-097UET、TA-270UET、

TA-OK270UET、GS-1

(株)世田谷製作所 フリーダイヤル:0120-634-126

ホームページ:<http://www.setagaya-seisakusyo.co.jp>

(株)ハーマン フリーダイヤル:0120-248-772

(株)オカキン フリーダイヤル:0120-581-126

東京ガス(株) フリーダイヤル:0120-133-278

- ③ (株)ノーリツでは、平成元年8月から平成6年5月までに製造・販売した「ガスふろ給湯器(型式:GRQ-161シリーズ、GRQ-162シリーズ、GRQ-163シリーズ、GRQ-201シリーズ、GRQ-203シリーズ、GRQ-204シリーズ)」において、長期間使用により部品の一部に亀裂が入り、ガス漏れが生じて機器内部の焼損が発生するおそれがあることから、本年6月8日社告を出して、無償で点検・部品交換を行っています。また、同型機で「北海道ガス」ブランド、「東邦ガス」ブランド、「西部ガス」ブランド、「日立ハウステック」ブランド、「東京ガス」ブランド、「大阪ガス」ブランドのものも同様に点検・部品交換を行っています。対象製品をお持ちの方は、下記のフリーダイヤルか販売店、ガス事業者に連絡して下さい。

(株)ノーリツ(北海道ガス(株)、東邦ガス(株)、西部ガス(株)含む)

フリーダイヤル:0120-257-026

ホームページ:<http://www.noritz.co.jp>

(株)日立ハウステック フリーダイヤル:0120-551-654

東京ガス(株) フリーダイヤル:0120-156-004

大阪ガス(株) フリーダイヤル:0120-0-948717

- ④ (株)ガスターでは、平成10年12月から平成16年8月までに製造し、東京ガス(株)、大阪ガス(株)、リンナイ(株)及び(株)INAXへのOEM供給並びに当該社で販売した「シャワー付BFふろがま(型式:SR-133SDX)」の一部の機器のについて、「給湯・ふろガス電磁弁」の不具合から繰り返し給湯やシャワーを使用中、高温水や蒸気がでるおそれがあることから、平成18年12月13日社告を出して、無償で点検・部品交換を行っています。対象製品をお持ちの方は、下記のフリーダイヤルか販売店、ガス事業者に連絡して下さい。

(株)ガスター((株)INAX含む)

フリーダイヤル:0120-211-871

ホームページ:<http://www.gastar.co.jp>

リンナイ(株) フリーダイヤル:0120-250-711

東京ガス(株) フリーダイヤル:0120-660-416

大阪ガス(株) フリーダイヤル:0120-0-94817

【その他の事故情報・リコール情報】はこちら↓

http://www.meti.go.jp/product_safety/index.html

<http://www.jiko.nite.go.jp/index.html>

(本発表資料のお問い合わせ先)

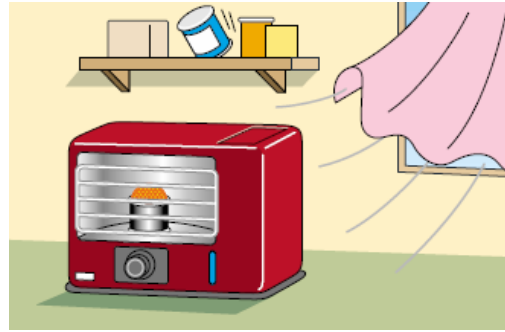
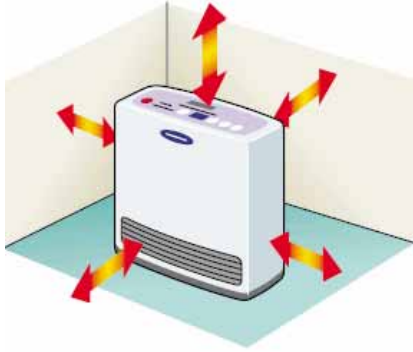
商務情報政策局 商務流通グループ製品安全課

担当者:青木、松本

電話:03-3501-4707(直通)

⚠ 注意 壁や可燃物との距離を十分にとってください！

暖房機（ガス赤外線ストーブ・ガスファンヒーター）は取扱い説明書記載の離隔距離をとり、燃えやすいもののそばや、強い風の吹き込む所、棚の上の落下物の危険のある所、カーテンのそばなどでは使用しないでください。



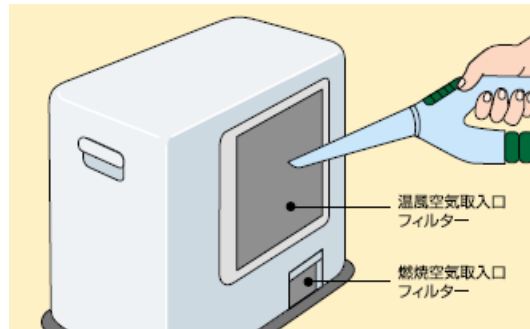
⚠ 警告 換気は必ず必要です！

ガス赤外線ストーブやガスファンヒーターを使用する場合は、30分に1回（1分～2分）程度換気をしましょう。



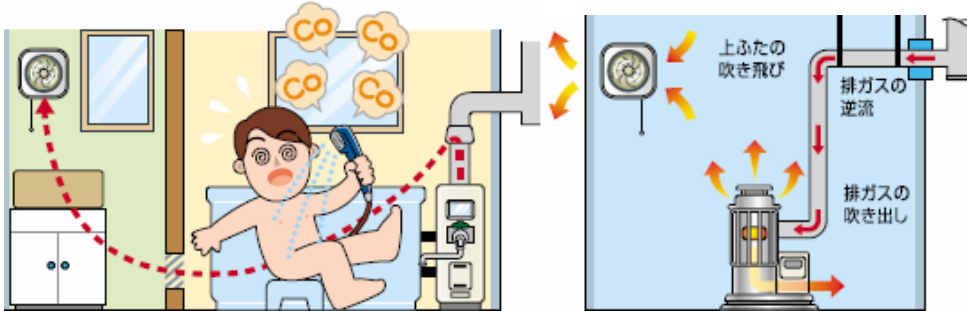
⚠ 警告 ほこりは大敵です！

温風空気取入口フィルターや燃焼空気取入口フィルターのほこりを放置しておくと、機器内部の温度が上がり過熱防止装置が働いて使用できなくなったり、燃焼空気不足で途中消火したり、点火できなくなることがあります。



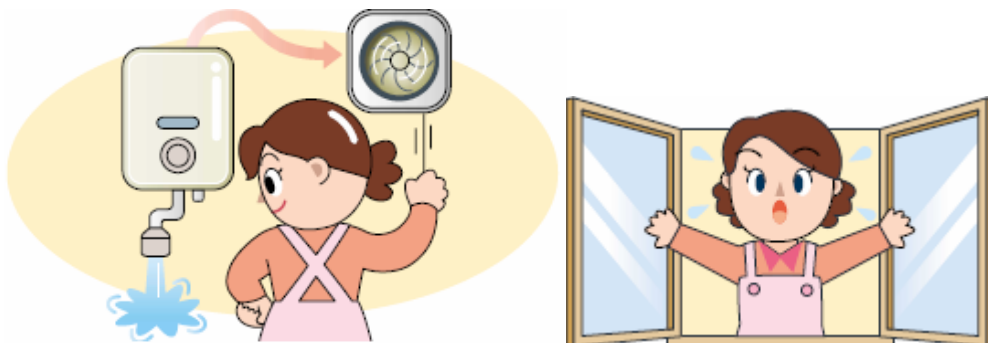
⚠️ 危険 こんな場合は換気扇同時使用禁止！

屋内に設置されている煙突付きのふろがまの使用中は、台所や脱衣場の換気扇を同時使用しないでください。室内に排気が入って一酸化炭素中毒の原因になります。また、燃焼が立ち消えし、爆発燃焼する恐れがあります。



⚠️ 危険 換気をしましょう！

物が燃えるには、新鮮な空気が必要です。十分な換気をしなければ、空気不足により一酸化炭素が発生し、不完全燃焼をおこし一酸化炭素中毒死に至る恐れがあります。



⚠️ 注意 点検をしましょう！

煙突式機器は、ときどき煙突が外れていたり、腐食していたり、外観に異常がないか、また給排気筒（換気口）が塞がれていないか点検を行ってください。

